

- 問1 あるパン屋において、これまで1,000円で8個買うことができたパンが、社会全体の物価上昇の影響を受けて1個あたりの価格が2倍になったとします。このとき、同じ1,000円で買うことができるパンの個数と、お金の価値の変化について正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
1. パンの個数は4個に減少し、お金の価値は上昇した。 2. パンの個数は16個に増加し、お金の価値は上昇した。 3. パンの個数は4個に減少し、お金の価値は下落した。 4. パンの個数は16個に増加し、お金の価値は下落した。
- 問2 現代の経済における資金の調達方法のうち、「直接金融」の仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 日本銀行が市中の金融機関と国債などを売買し、通貨量を調整する。 2. 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を調達する。 3. 銀行などの金融機関が、預金者から預かった資金を企業に貸し出す。 4. 政府が国債を発行し、公共事業を行うための資金を調達する。
- 問3 現代の経済における企業の資金調達方法のうち、「直接金融」の説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 証券市場を通じて、企業が発行する株式や社債を投資家が購入することで、企業が直接資金を得る仕組み 2. 政府が国民から徴収した税金をもとに、道路や公園などの公共施設を整備する仕組み 3. 銀行などの金融機関が家計から集めた預金を、資金を必要とする企業に対して融資する仕組み 4. 日本銀行が市中銀行との間で国債などを売買し、世の中に回る通貨の量を調整する仕組み
- 問4 日本銀行が実施する「売りオペレーション」と呼ばれる政策において、日本銀行と民間金融機関の間で行われる具体的なやり取りと、その直接的な効果を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。 2. 日本銀行が国債を「買い」、民間銀行へ通貨を支払うことで、市場の通貨量を「増加」させる。 3. 民間銀行が国債を「売り」、日本銀行から通貨を受け取ることで、市場の通貨量を「増加」させる。 4. 日本銀行が国債を「発行」し、日本銀行がそれを直接引き受けることで、市場の通貨量を「一定」に保つ。
- 問5 2024年度から導入された新一万円札の肖像には、かつて「日本資本主義の父」と呼ばれ、日本最初の国立銀行を設立した人物が採用されました。この人物は誰ですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
1. 岩崎弥太郎 2. 福沢諭吉 3. 津田梅子 4. 渋沢栄一
- 問6 日本銀行が、一般の銀行との間で国債などを売買することによって市場の通貨量を調節し、景気や物価を安定させる政策の名称を答えなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 財政投融资 2. 所得再分配 3. 預金準備率操作 4. 公開市場操作
- 問7 景気が過熱し、物価が上がりすぎるおそれがある好況期において、日本銀行が世の中の通貨量を調節するために行う操作とその仕組みについて、正しい説明はどれか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 政府が公共事業の支出を増やすことで、社会全体の需要を刺激し、景気をさらに活性化させる。 2. 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることで、通貨量を減少させる。 3. 所得税の税率を引き下げることで、個人の消費支出を増やし、企業の生産活動を促進する。 4. 一般の銀行から国債を買い取り、市場に資金を供給することで、通貨量を増加させる。
- 問8 金融の仕組みにおいて、銀行を通じた融資（間接金融）と比較した際の「直接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 政府が税金として集めた資金を、公共事業のために特定の企業へ配分する仕組みである。 2. 企業が株式や債券を発行し、証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する仕組みである。 3. 投資家が銀行に預けた預金が、銀行の判断によって特定の企業へ貸し出される仕組みである。 4. 銀行が倒産した場合でも、企業への資金供給が止まらない仕組みである。
- 問9 日本の中央銀行である日本銀行が、国内で唯一、日本銀行券（紙幣）を発行できる独占的な権限を持っていることを指す役割として、適切なものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 政府の銀行 2. 銀行の銀行 3. 発券銀行 4. 管理通貨制度
- 問10 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の銀行に対して資金を貸し付けたり預金を受け入れたりする役割を指す言葉として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 発券銀行 2. 市中銀行 3. 銀行の銀行 4. 政府の銀行
- 問11 銀行と、預金を行う家計、および資金を借りる企業との間で行われる利子のやり取りにおいて、銀行が利益を得るための条件として適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 景気が悪化した際に、銀行が貸出金利と預金金利の差をなくして資金の流動性を高めること。 2. 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。 3. 家計が銀行から受け取る利子が、企業が銀行に支払う利子よりも多く設定されていること。 4. すべての利用者が一定の預金を行うことで、銀行が利子を支払う必要がなくなること。
- 問12 2010年以降、日本銀行は世の中に流通する通貨の量を急激に増やす政策を続けています。このように通貨の供給量を増やすことで、経済にどのような変化をもたらそうとしているか、その目的として最も適切なものを選択してください。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 企業の利益を減らして労働者の賃金を強制的に引き上げ、所得の格差を解消すること 2. 物価が下がり続けるデフレーションから脱却し、物価を上昇させることで景気を回復させること 3. 市場の通貨量を減らすことで円の価値を高め、輸入品の価格を大幅に引き下げること 4. 物価が上がり続けるインフレーションを抑え、物価を下落させることで国民の生活を安定させること
- 問13 日本銀行は、景気が過熱して物価が急激に上昇するインフレーションを抑える必要があるとき、金融政策を実施します。このとき、日本銀行が市場の通貨量を調整するために行う具体的な行動とその仕組みの説明として、適切なものはどれか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 電気料金やガス料金などの公共料金の認可を差し止め、物価を抑制する 2. 一般の銀行に国債などの有価証券を売却し、市場に流通する通貨の量を減らす 3. 日本銀行の窓口で一般市民に直接、低金利で資金を貸し出し、購買力を高める 4. 一般の銀行から国債などの有価証券を買い入れ、企業への貸し出しを促進する

答え合わせ・解説

問1	答え 3 パンの個数は4個に減少し、お金の価値は下落した。	物価が2倍になると、1,000円という同じ金額で手に入れられる商品の量は半分（この場合は8個から4個）に減少します。このように、同じ金額を支払っても以前より少ない量の商品しか買えなくなる状態は、お金が持っている「物を買う力（購買力）」が弱まったことを意味するため、お金の価値は下落したと判断します。
問2	答え 2 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を調達する。	直接金融は、資金の受け手である企業と、資金の出し手である投資家が、証券市場を介して直接結びつく仕組みです。選択肢にある銀行を通じた貸し出しは「間接金融」、日本銀行による操作は「金融政策（公開市場操作）」に該当し、それぞれ目的や仕組みが異なります。
問3	答え 1 証券市場を通じて、企業が発行する株式や社債を投資家が購入することで、企業が直接資金を得る仕組み	直接金融は、資金の出し手（投資家）と受け手（企業）が、銀行などを介さずに証券市場という場を通じて直接結びつくことが特徴です。選択肢にある銀行が預金を貸し出す仕組みは「間接金融」、日本銀行が行うのは「公開市場操作（金融政策）」、政府が行うのは「財政政策」にあたります。
問4	答え 1 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。	公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）のうち、好景気に行われるのが「売りオペレーション」です。日本銀行が主体となって国債を「売る」ことで、対価として民間銀行の資金を回収します。その結果、世の中の通貨（マネースtock）の供給が絞り込まれ、物価の安定を図ることができます。選択肢にある「国債を買い、通貨量を増加させる」のは、不景気に行われる「買いオペレーション」の説明です。
問5	答え 4 渋沢栄一	渋沢栄一は明治時代に第一国立銀行（現在の銀行の先駆け）を設立したほか、500以上の企業の創立に関わり、日本の近代経済の基礎を築きました。経済活動だけでなく、社会福祉事業にも深く関わった功績から、新紙幣の肖像として選ばれました。なお、当時の「国立銀行」は、現在の「日本銀行（中央銀行）」とは異なり、民間資本による銀行でした。
問6	答え 4 公開市場操作	日本銀行が金融政策の主要な手段として用いるのが公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）です。市場の資金量を直接調整する手法であり、景気が過熱しているときには国債を売る「売りオペレーション」、景気が停滞しているときには国債を買う「買いオペレーション」を行い、経済のバランスを整えます。
問7	答え 2 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることで、通貨量を減少させる。	景気が過熱している時期には、日本銀行は保有する国債を一般の銀行に売却します。これにより、民間銀行が支払いに充てた資金が日本銀行へ回収されるため、世の中に出回る通貨量が減少し、過度なインフレや景気の過熱を抑える働きが生じます。対照的に、国債を買い取る操作は不況期に行われるものです。また、公共事業の増減や減税は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。
問8	答え 2 企業が株式や債券を発行し、証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する仕組みである。	間接金融では銀行などの金融機関が「仲介者」となって預金者と企業を結びつけますが、直接金融では企業が発行した証券を投資家が選んで購入します。このため、直接金融では資金の出し手がリスクを直接負う代わりに、企業は自らの信用力や事業の魅力に基づいて広範な投資家から資金を集めることが可能になります。
問9	答え 3 発券銀行	日本銀行は日本で唯一の「中央銀行」であり、日本銀行券を発行する独占的な権限を持っています。この役割を「発券銀行」と呼びます。このほか、民間の金融機関を相手に資金の貸し出しなどを行う「銀行の銀行」としての役割や、国庫金の出納などを行う「政府の銀行」としての役割を担っています。
問10	答え 3 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般企業が直接預金をしたり借入れをしたりする場所ではなく、民間の金融機関（市中銀行）を相手に取引を行うことから、「銀行の銀行」と呼ばれます。これにより、金融システム全体の安定を図る役割を担っています。
問11	答え 2 企業が銀行に支払う利子の総額が、銀行が家計に支払う利子の総額を上回っていること。	家計から銀行へ預けられたお金は、銀行を通じて企業への貸し出しに回されます。銀行がこの業務を継続するためには、家計に対して支払う「預金金利」というコストよりも、企業から受け取る「貸出金利」という収益が大きくならなければなりません。この仕組みによって生まれる「利ざや」が、銀行の店舗運営費や従業員の給与、そして銀行自体の利益に充てられることとなります。もし預金金利の方が高くなれば、銀行は赤字となり、金融仲介の機能を維持できなくなります。
問12	答え 2 物価が下がり続けるデフレーションから脱却し、物価を上昇させることで景気を回復させること	日本銀行が世の中に供給する通貨の量（マネタリーベース）を増やすと、民間銀行が企業や個人に貸し出せる資金が増え、経済活動が刺激されます。この政策は、物価が継続的に下落して景気が停滞する「デフレーション」という状態から抜け出すことを最大の目的としています。通貨供給量を増やして金利を下げることで、消費や投資を促し、物価を適度に上昇させるサイクルを作ろうとしています。
問13	答え 2 一般の銀行に国債などの有価証券を売却し、市場に流通する通貨の量を減らす	物価の上昇を抑えるために、日本銀行は市場に出回る通貨の量を減らす「売りオペレーション」を行います。日本銀行が持つ有価証券を銀行に売ること、代金として銀行側の手元資金を吸い上げ、世の中に出回るお金の量を制限し、景気の過熱を和らげます。公共料金の認可は政府が行うものであり、日本銀行の権限ではありません。また、日本銀行は一般市民との直接取引は行いません。